

衆議院議員

浅野さとし

活動Letter
No. 2

発行：衆議院議員 浅野さとし 2017年12月

日々、全力疾走！！ 第195国会、閉会

エネルギー政策は現場重視で向き合う政策に

12月7日、党エネルギー調査会が開催され、本調査会の事務局次長を拝命しました。当日は田嶋要会長から、これまでのエネルギー政策の経緯について説明がありました。



エネルギー政策について意見を伝える



活発な意見が交換される

私からは、①資源に乏しい我が国のエネルギー安全保障についての考え方、②電気の質の安定化、③コストの安定化、④産業構造に与える影響、の4点についてしっかり議論をしながらエネルギー政策を考えていくべき、と述べさせていただきました。

引き続き、現場の声に基づく施策の実現に向けて、全力で努めてまいります。

全建総連より要請を受ける ～建設業の労働環境改善に関する要請～



党として要請書を受け取る



「建設業界が抱える課題に真剣に向き合います」

12月8日、党として全国建設労働組合総連合（全建総連）から要請を受けました。建設産業で働く皆さんの賃金や単価の引き上げ、法定福利費と建設国保を育成・強化し、労働環境を解決することが、次代を担う人財の確保のためにも必要不可欠です。

課題解決に向けて前進するように取り組んでまいります。

【プロフィール・略歴】

浅野哲（あさのさとし）。1982年9月25日生まれ（35歳）。青山学院大学大学院修了。

（株）日立製作所日立研究所研究員。日立労組研究所支部執行委員。大畠章宏衆議院議員秘書。

第48回衆議院議員総選挙において初当選。日立市在住。妻と娘の3人家族。

「ALL for ALL (みんながみんなのために)」の中身を具体的に検討していきます



社会保障の在り方について想いを伝える



役員会での膝をつき合わせた議論風景

12月6日、党社会保障制度調査会が開催され、本調査会の事務局次長を拝命しました。前段に開催された役員会では、前原誠司最高顧問、大串博志顧問、小川淳也会長、稲富修二事務局長、緑川貴士事務局次長と私の6名でそれぞれの地域から持ち寄ったそれぞれの意見について議論を交わしました。少子高齢化が急速に進む日本において、社会保障の改革は急務です。「ALL for ALL」の理念のもと、全世代型社会保障制度の実現に向けて具体的中身を検討していきます。

「政治」に無関係では生活できない。身近な存在として「政治」を考えてほしい！



約150名の組合員の皆さんに対してご挨拶

12月1日、電機連合会館にて開催された日立労組本社支部2年目組合員研修にお招きいただき、総選挙でのご支援への御礼と、「私がなぜ国会議員になったのか」と題し、お話しさせていただきました。これから「若い世代」が直面する社会問題。例として65歳以上の高齢者1人を支える現役世代の人数が1970年は8.5人でしたが、2050年には1.2人となると推計されています。(総務省統計)

政治を考えることは自分の未来を考えること。未来を担う「若い世代」に光をあてる政治の実現をめざして全力で取り組みます。



【浅野さとしからのメッセージ】

特別国会が開会しました。あ、という間の39日間でしたが、働く仲間や地域の声をきちんと伝えられる様、日々真剣に取り組めました。2018年も全力を尽くします!!
浅野さとし

【連絡先】

衆議院議員 浅野哲 国会事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院第一議員会館 406号

Mail : g17398@shugiin.go.jp
Tel : 03-3508-7231
Fax : 03-3508-3231